

連絡手段



公衆電話

公衆電話は、通常の電話よりもつながりやすく、災害時には無料で使用できる。※通話時には10円硬貨が必要(通話後に返却)。



携帯電話

通話規制や、基地局の倒壊、停電等で音声通話がつながりにくくなる可能性も。比較的つながりやすいと言われるポケット通信を利用したメールや災害用伝言サービスを活用しましょう。



PC・スマートフォン

メールや、ツイッター・フェイスブック等のソーシャルメディアが有効。使用するにはネット環境と電源が必要。充電切れに備え、充電器等を常備しておく。

災害用伝言サービス



災害用伝言ダイヤル「171」

【利用方法】
171をダイヤル

登録可能番号

すべての電話番号

固定電話は被災地域の市外局番に限る

保存期間

サービス終了時まで

登録件数

1～20件

web171の伝言も再生可能

録音時間

30秒／件

一度に録音できる時間は30秒と短い
ため、安否の確認、今いる場所、これからどうするかを簡潔に録音する。原稿をあらかじめ作成しておくとうい。



災害用伝言板

【利用方法】
各社公式メニューや専用アプリから

登録可能番号

携帯の電話番号

登録時は自動的に登録され入力不要

保存期間

サービス終了時まで

登録件数

10件

ソフトバンクは80件

録音時間

100字／件

あらかじめ登録をしておけば、災害用伝言板登録時に自動的に登録お知らせメールを送ることができる。家族や友人を登録しておこう。



災害用伝言板 web171

【利用方法】
「web171」で検索

登録可能番号

すべての電話番号

携帯、PHS、IP電話の番号でも登録可能

保存期間

最大6ヶ月

登録件数

20件

携帯各社伝言板の伝言も一括検索可能

録音時間

100字／件

家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」をあらかじめ決めておくこと。

各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日・1月1日～1月3日・防災週間(8月30日～9月5日)・防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)に体験利用することができます。

手順
1揺れが収まるまで動かず、身の安全を守ってください

立っている方は近くの椅子に座るか、机の下で頭を守るようにしてください。



グラスをお持ちの方はテーブルに置いてください。



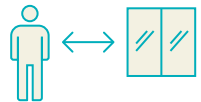
立ち上がらないでください。上から物が落ちてくる恐れがあります。



体を低くして、身の安全を守ってください。



お子様は手を離さず小さなお子様はしっかりと抱きかかえてください。



窓ガラスから離れてください。

手順
2揺れが収まったら、避難経路からスタッフの指示に従って順に屋外へ。

手荷物は持たないでください。身軽に動けるように、避難を優先させます。



避難経路の安全を確認でき次第、スタッフの誘導に従い、一列になって避難してください。



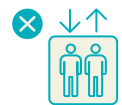
案内があるまで、席を立たないようにお願い致します。



大勢が出口に殺到すると危険です。



揺れは収まりましたが、再度揺れる可能性があります。一列でご移動をお願いします。



エレベーターは使用できません。



※小さなお子様は抱きかかえるか、しっかりと手をお繋ぎ下さい。

手順
3外に出たら建物から離れて待機してください。

全員の方の避難が終わるまで、その場で待機をお願いします。

火災の場合の注意点

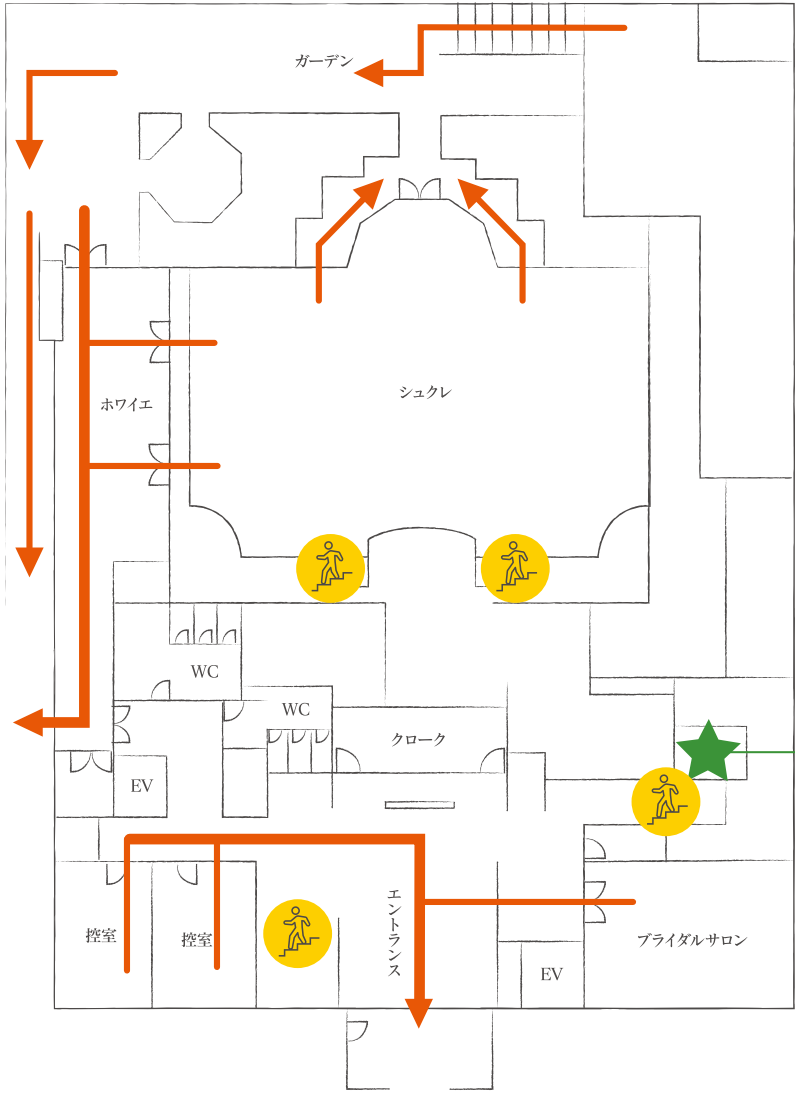
☒ 低い姿勢で避難

☒ 煙を吸わない様に
口をハンカチやナフキンでふさぐ

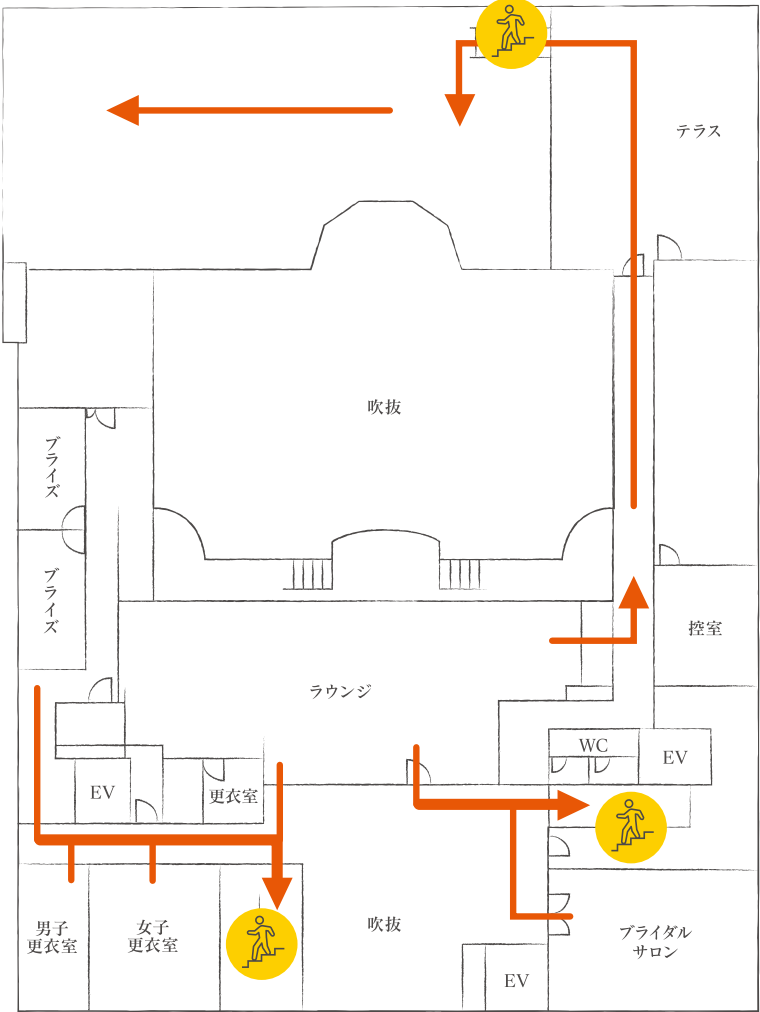
本館

本館

1F
シュクレ

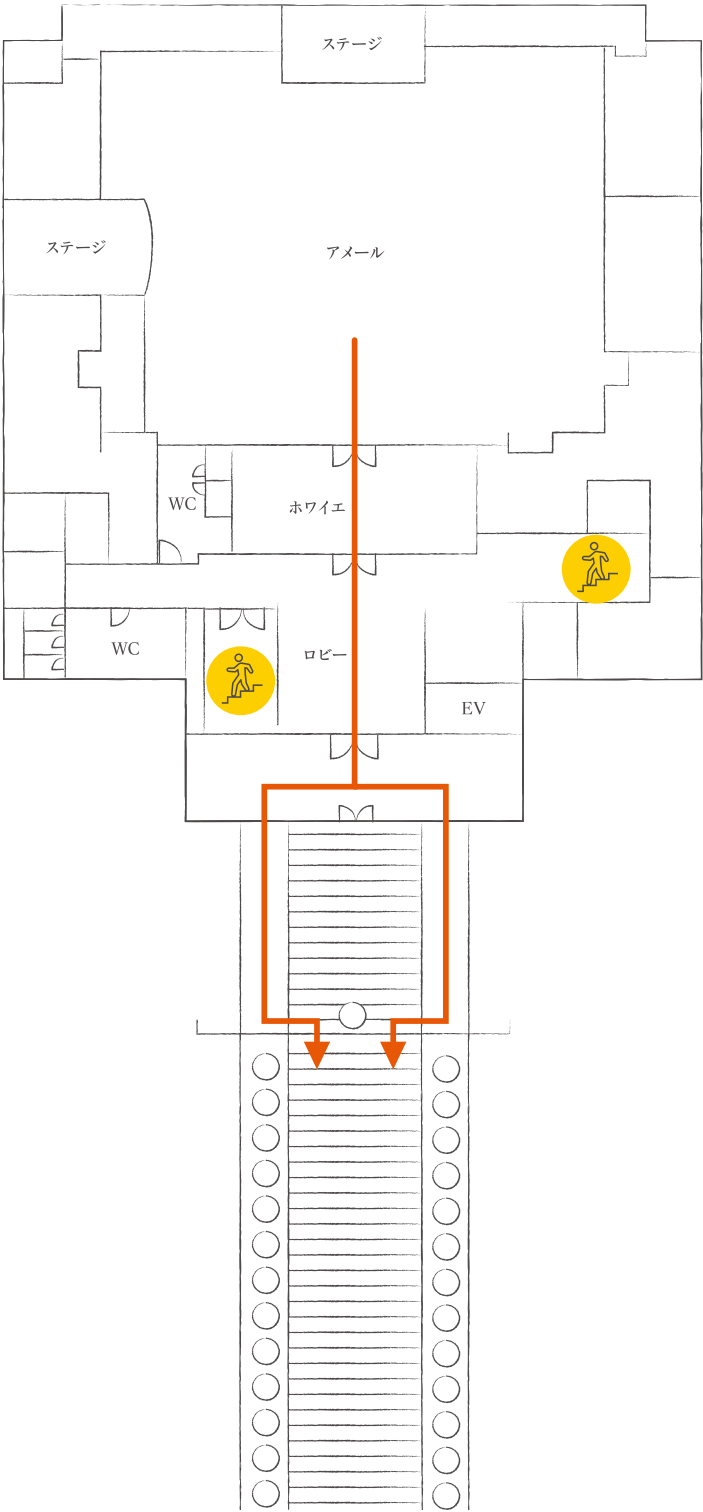


2F



本館

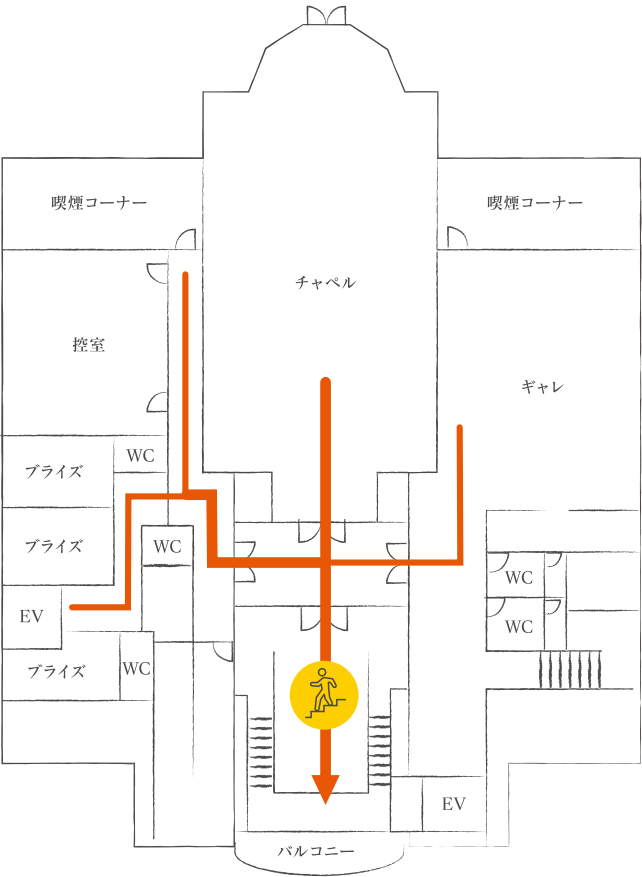
3F
アメール



3F
大階段

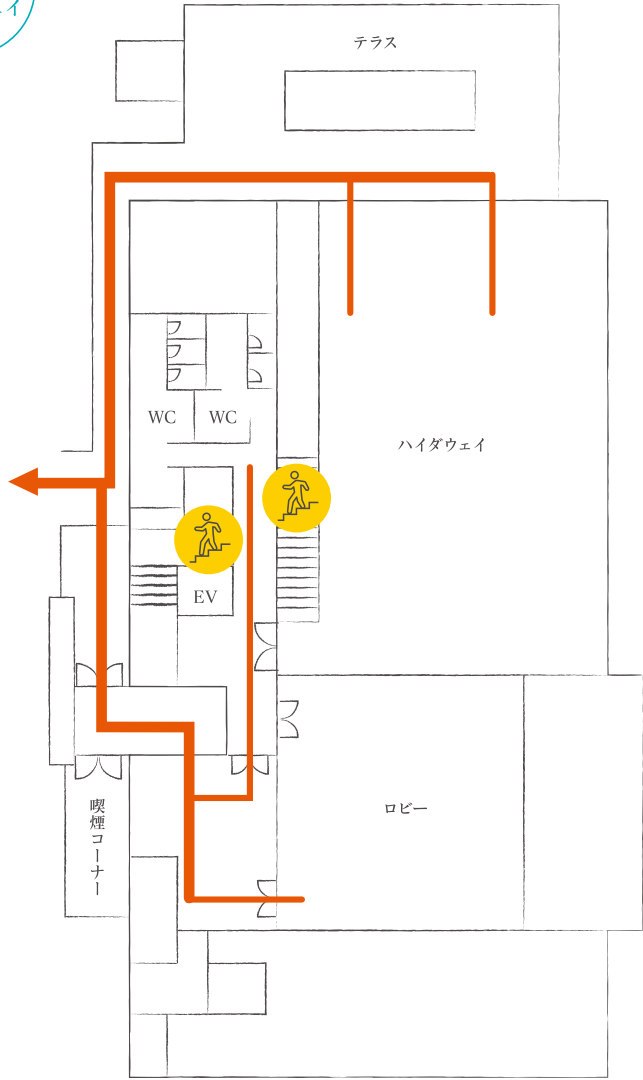
本館

5F



別館

1F
ハイダウェイ



別館

2F
アイレット

